



真岡市議会議員

お世話になります！

# 中村かずひこ通信

【発行元】中村かずひこ未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4 Tel. 0285-82-6285  
ホームページ <http://www.nakamurakazuhiko.com> e-mail [tonpei@i-berry.ne.jp](mailto:tonpei@i-berry.ne.jp) vol.53



## 6月定例議会報告 6/6▶6/21

6月定例議会が、6月6日(月)から21日(火)にわたって行われました。今回、執行部から提出された議案は、人事案件(固定資産評価員、人権擁護委員)、工事請負契約(総合運動公園クラブハウス・弓道場、ケーブルテレビ光ケーブル敷設工事)など13件で、いずれも原案通り可決されました。



将来の課題を見据えて…

## 一般質問

議員による質疑・一般質問は、13日(月)と14日(火)の2日間行われ、中村は14日の3人目(最終質問者)として登壇。計3件の一般質問を行いました。

執行部は答弁の中で、現在策定を進めている『公共施設等総合管理計画』について、市民アンケートやパブリックコメントを経て来年3月までに完了させる計画であること、さらに、子ども達の学力向上のために、教員の各種研修を充実させていく考えであることなどを明らかにしました。(中面に関連記事)

### 中村が行った一般質問の内容

#### 1. 公共施設等のマネジメント及び跡地利用について

- (1) 公共施設等総合管理計画について
- (2) 統廃合に伴う小学校の将来的な跡地利用について
- (3) 移転に伴う芳賀赤十字病院の将来的な跡地利用について

#### 2. 福祉分野の諸課題について

- (1) 高齢者福祉について
- (2) 障がい者福祉について
- (3) 子どもの貧困問題について

#### 3. 教育長就任の抱負について

- (1) 子ども達の学力向上について
- (2) 不登校対策について
- (3) 特別支援教育について
- (4) 平和教育について

市民と市政のかけ橋になりたい！

☆お気軽にお声をかけて下さい。  
お友達との井戸端会議、勉強会等、2〜3人でも結構です。どこへもお伺いいたします。  
☆あなたのアイデアを市政にいかしたい！  
お気づきの点がございましたら、どんな小さなことでも結構です。ぜひご意見を！

「見逃した！」という方に  
バックナンバーをお送りします

これまで「未来をつくる会」では、毎定例会議終了時に、「中村かずひこ通信」を発行して来ましたが、1〜52号までを見逃された方は、お気軽にご相談下さい。  
こちらからお送りさせていただきます。

次回発行予定日

次回の「中村かずひこ通信」は

10月30日(日)

発行予定です。新聞の折り込みチラシをご覧ください。

## コラム むあっぴ

### 『戦争を知らない世代』だから

最近、書店に立ち寄ると、田中角栄・元総理の関連書籍が数多く出版されていることに気づく。その中の1冊を読んでいたら、次のような言葉に出くわして、少し驚かされた。

『戦争を知っている世代が社会の中核にある間はいいが、戦争を知らない世代ばかりになると日本は怖いことになる』

昨年夏、太平洋戦争が終結して70年という節目を迎え、TVを見ていても戦争に関連した番組が目立った。それらを見てみると、戦争の悲惨さや平和の大切さを改めて痛感するのだが、戦争の記憶が国民の間で風化しつつあることに危機感を覚えたのも事実である。

『8月15日は何の日か』

ある番組で、10代後半から30代の若者200人を対象にアンケート調査をしたところ、約半数が正しく答えられなかったという。

『8月15日? 8・1・5…。ハイゴレイの日?』

TVの向こう側で、そんな答えをする屈託のない笑顔に思わず愕然とした。私の家では、父方の祖父がさきの大戦で戦死をしている。皆様のご家庭もそうであろうが、家族の中に戦争の辛さを経験した者がいた時は、日々の食卓でも平和教育が無意識のうちに行われてきた。しかし、時代は移り変わり、各家庭にそうしたことを期待するのは、今日では非常に難しくなっている。

そうした中、毎年8月6日に広島市で行われる平和記念式典に、中学生を派遣する自治体が増えてきた。昨年は栃木県内

でも7市3町で計182名の中学生が派遣されている。ただ残念なのは、その中に真岡市が含まれていないことである。

先日、広島に派遣された他市の中学生の文集を目にする機会があった。派遣当初は戦争について特段の感情はない、ただ単純に広島に行けることが嬉しい、そう考えていた生徒達が、平和記念資料館で当時の状況を見て、語り部の方の話を聞き、戦争の悲惨さや平和の大切さと真剣に向き合った様子が、文章の中からひしひしと伝わってくる。何より、平和記念式典に出席したことで、安倍総理をはじめ世界各国の代表者が真剣に世界平和を願っていることを肌身で感じたことが彼らにとって貴重な経験になったようだ。こうした機会を子ども達に与えることを、私達大人が怠ってはならない。

今、日本人の8割以上が戦後生まれである。まさに『戦争を知らない世代』であるし、今後知ってはならない。それでも社会の中核を担っていかねばならない。だからこそ、学ぶことと共感することが極めて重要なのだと思う。

今年の5月27日、アメリカのオバマ大統領が、現職の大統領としては初めて被爆地・広島を訪問するという歴史的出来事があった。そのオバマ大統領が行った約17分間のスピーチの中にこのような一節がある。

『いつの日か、証言する被爆者の声が私達のもとに届かなくなるだろう』

そうなる前に、中学生の広島派遣が実現することを切に願う。



# 中村かずひと議会レポート

## 6月定例議会 一般質問

【答弁者】

井田 隆一	市長
田上 富男	教育長
佐藤 厚	健康福祉部長
関 康雄	建設部長
添野 郁	教育次長

### 1. 公共施設等のマネジメント及び跡地利用 について



**質問** 真岡市では、昨年度から『公共施設等総合管理計画』の策定を進めている。人口減少時代を迎えた中で必要なものであることは信じて疑わないが、**公共施設の再編も視野**に入れたこの計画は、**慎重に議論を進める必要がある**と考える。計画策定に向けた進捗状況と今後の見通しはどのようになっているのか。

**答弁** 昨年度は、真岡市が**所有する全ての資産価値を把握し**、固定資産台帳を整備した。現在、真岡市が管理する施設数は280ヶ所(建物棟数は779)あり、将来必要となる維持管理費の見込みを現在行っているところである。今後は、まず7月から庁内の検討委員会で管理方針などを協議。**8月下旬以降に市民アンケート、来年1月にパブリックコメント**を実施し、**3月までに計画を策定**する予定である。

**質問** 平成30年4月に、市内4つの小学校(山前南、東沼、中村東、中村南)が**廃校予定**である。今後、学校施設の利活用について議論されると思うが、そもそも廃校後の学校施設は**どのようなものにまで転用が可能**なのか。また、4つの小学校は、**全て市街化調整区域**に位置しているが、**都市計画の線引きの変更**は可能か。学校施設は広さも限定的なので、都市計画法の言う『無秩序な市街化』には当たらないようにも思えるが。

**答弁** 学校施設は**廃校手続きを完了**すると、行政財産から**普通財産に移行**する。普通財産は**民間への売却や貸付**も制度上は可能となる。今回、廃校予定の4校は、市街化調整区域にあるため、開発行為の規制など様々な課題に直面すると思われるが、**社会教育施設や社会体育施設、福祉作業所**などいくつかの可能性が考えられる。なお、4校の敷地が1.7~1.9haと小規模であり、真岡市が進めてきた計画的かつ効率的なまちづくりという考え方と異なるため、都市計画の**線引きの変更は考えていない**。

**質問** 芳賀赤十字病院が将来的な**跡地利用**について、昨年9月の定例議会で**行政、日赤関係者、地元住民などによる協議機関を設けるべき**と提案したが、答弁では『跡地利用は、土地の所有者である日本赤十字社が決定すべきもの』とし、協議機関を設ける考えはないとのことだった。しかし、中心市街地にある広大な敷地(2.1ha)の利活用について、**行政が全く口を挟まない**という姿勢は**いかがなものか**。

**答弁** 芳賀赤十字病院の土地及び建物は、**日本赤十字社の所有**であることから、跡地利用については**同社が検討し、決定すべきもの**である。真岡市としては、行政、日赤関係者、地元住民などで構成する**協議機関を設ける**考えはない。

### 2. 福祉分野の諸課題 について



**質問** 真岡市は、**生活保護率が県内14市の中で2番目の高さ**にあり、今年度も当初予算で13億7千万円が計上され、対前年度比で9千万円上昇している。受給者を年齢層で分けると、**20~50代が減少傾向**にあるが、**65歳以上が大幅に増加**し、受給者全体の数をも押し上げているのが分かる。真岡市は、他市と比べて高齢者の割合が低いにも関わらず、このような傾向が見られることについて、**どのように分析**しているのか。

**答弁** 今年3月末の時点で、真岡市において**生活保護**を受けている624世帯のうち、**高齢者のみの世帯は274世帯**で、その割合は44.1%となっており、5年前と比べて97世帯、**9.1%増加**している。その要因については、疾病や定年などによる失業で収入が減少したこと、身寄りがなく預貯金が底をつくなどが考えられる。今後の対策としては、**就労可能な高齢者**については、**就労支援員やハローワークと連携**し、経済的自立に向けた支援をしていく。

**質問** 真岡市は、**脳卒中の死亡率が県内でも悪い地域**の1つである。また、今年度から国民健康保険税が見直されるようになった。そうした中では、**予防医療の取り組み**を加速させる必要があり、一昨年10月に真岡駅前にオープンした『**まちなか保健室**』のような施設を増やすべきと考える。今年度、**2カ所目の「まちなか保健室」が田町に整備予定**であるが、現在までの進捗状況はどのようになっているか。また、今後**市内各所に整備する計画**は。

**答弁** 『まちなか保健室』の整備に向けては、地元の方々の協力が不可欠である。そのため、**今年2月から3月にかけて、田町の自治会役員**に対して**説明会**を開催し、協力をいただける旨の回答を得た。現在、**田町区内の空き店舗**について**内諾をいただいた**ので、**年度内の開設**を目標に準備を進めている。**市内各所に整備**することについては、市民が健康相談を受けられる環境の整備は必要であり、中心市街地の活性化にもつながるので、**将来的に増やしていきたい**と考えている。

**質問** 『**地域生活支援拠点**』は、障がい者が親亡き後も地域の中で安心して暮らしていけるよう、**住居と相談機能**を兼ね備えた施設である。現在の計画では、**平成29年度末までに芳賀地区内に1ヶ所以上整備**する方針であるが、保護者としては『**できれば真岡市内に**』という思いではないだろうか。1市4町の**話し合いはどこまで進んでいる**のか。

**答弁** 昨年10月から、**県と芳賀地区1市4町で体制整備に向けた話し合い**を開始した。その後、管内の福祉団体や福祉関係事務所なども交えた『**芳賀地区自立支援協議会**』において、**具体的な協議**を進めている。**真岡市に設置**するかどうかについては、**現時点では未定**だが、**中心的役割**を果たしながら話し合いを進めていきたいと考えている。

**質問** 現在、我が国では**18歳未満の6人に1人が貧困状態**という報告もあり、『**子どもの貧困**』が大きな社会問題となっている。**真岡市でも**昨年度、この問題に関して**264件の相談**があったとのことであり、対策が急がれる。そうした中、国が『**地域子供の未来応援交付金**』というものを創設した。『**子どもの貧困**』解消に向けて支援計画をつくった上で、**地元の企業やNPO、自治会などと連携した事業**を行った場合に支援が受けられるものだが、**真岡市で活用する考え**はあるのか。

**答弁** 『**地域子供の未来応援交付金**』は、**今年2月の補正予算**により**内閣府が創設**したものである。この交付金が活用できる事業として、『**子どもの貧困**』解消に向けて地域のネットワークを構築するための『**整備計画の策定**』や『**コーディネーターの登用**』が挙げられる。現在までのところ、**交付金の申請**を行ったのは**全国9市1町**であり、真岡市でも活用が図れるか**先行事例を調査・研究**していく。

### 3. 教育長就任の抱負 について



**質問** 全国各地で行われている**学力向上**に向けた取り組みを見ると、子ども達の生活リズムの見直しや教員の多忙感解消など、**アプローチの仕方も様々**なようである。教育長は**具体的にはどのような手法で**、子ども達の学力を向上させるつもりなのか。また、4月19日に『**全国学力学習状況調査**』(小6、中3対象)、『**とちぎっ子学習状況調査**』(小4・5、中2対象)が行われたが、子ども達の学力の状況について**市民との情報共有化**を図る考えは。

**答弁** 子ども達の学力向上を図るためには、**教師の授業力向上が何よりも大切**と考える。そのため、教員の研修会を充実させるとともに、各校において教科研究会など**校内授業研究会を積極的に**取り組んでいく。特に今年度、教育委員会の**指導主事が6人体制**になったので、指導主事を校内授業研究会に派遣していく。また、児童・生徒の学力の現状について、**広報紙やホームページで昨年公表したが、市民との情報共有化**を図るため、**今年度も同様の取り組み**をしていく。

**質問** 昨年度、真岡市内の**中学生の不登校率は5.17%**だった。これは、県内の自治体の中でも不登校率が特に高かった**13年前(4.40%)よりも高い**。無論、この課題は割合の上昇・低下だけで論じられるほど単純なものではない。全国を見るときに、原因で不登校になった生徒に学校復帰を促した結果、自殺という結果を招いたケースもある。教育長は、不登校の課題について**どのような方針で臨むのか**。

**答弁** 不登校への対応は、**初期対応が極めて大切**であると考えている。児童・生徒に不登校の兆候が見られた場合、学校は保護者と連携するとともに、家庭訪問や電話、手紙などで継続して根気強く対応できるよう積極的に支援していきたい。真岡市では、学校から提出される『**個別支援票**』をもとに1人1人の状況把握に努めるとともに、**心理相談員やスクールカウンセラーなどと連携**しながら、不登校数の減少に取り組んでいきたい。

**質問** 昨年12月、民生文教常任委員会のメンバーと**特別支援教育**に携わっている先生方が意見交換をする機会があったが、いずれの先生方からも『**今後の大きな課題は、軽度の発達障害を持つ子ども達への対応**である』という意見が異口同音に出された。しかし、真岡市の現状を見ると、発達障害の子ども達を対象にした**通級指導教室**があるのは、**真岡東小学校と真岡中学校の2校のみ**である。今後**増設させる考えはあるのか**。

**答弁** 通級指導教室については、児童・生徒が**年間10人以上通級**することや**拠点校**であることなどの**設置基準**がある。入学前後の子ども達の実態を的確に把握し、**必要な基準を満たした場合は、設置許可者である県に申請**をしていきたい。また、自校の特別支援教室で通級による指導も受けられるほか、障害の特性によってはチーム・ティーチングなどの方が向いている場合もあり、適切に対応していきたい。

**質問** 5月27日、アメリカの**オバマ大統領が広島を訪問**するという歴史的出来事があった。昨年、戦後70年という節目を迎えたが、戦争経験者の高齢化が進み、戦争の悲惨さを語り継ぐことが難しくなっている。それは、原爆についても例外ではなく、オバマ大統領のスピーチにもあったように、**いずれ被爆者の話を聞くこともできなくなる**。昨年9月の定例議会でも取り上げたが、8月6日に行われる**広島**の平和記念式典に**中学生を派遣してはどうか**。昨年は栃木県内でも**7市3町で182名**が派遣されているが、

**答弁** 市内小・中学校では、**社会科の授業**で原爆によって亡くなっただけでなく、後遺症によって苦しんでいる人々がいることを**学習**している。また、**戦争体験者の話を聞く取り組み**も行っており、戦争の悲惨さや平和の大切さを児童・生徒に深く考えさせている。このようなことから、広島

の平和式典への**中学生の派遣は考えていない**。

## 再質問



### 統廃合に伴う小学校の将来的な跡地利用について

**質問** 廃校が予定されている小学校について『**都市計画の線引きの変更**は考えていない』という答弁だったが、こちらの質問の趣旨は『**執行部にやる考えがあるのか**』ということではなく、『**法的には可能なか**』ということである。客観的にそのあたりはどうか。

**答弁** 現時点では**県の指導**により、**小規模な線引き**については**認められていない**。

**質問** これまでに廃校になった学校跡地の活用状況を見ていると、やはり前もって議論をする必要性があるように感じる。都市計画の線引きの変更が難しいのであれば、真岡市としても**特区の活用も検討課題になるのではないか**。

**答弁** 特区と言っても、どのような特区なのかということがあると思う。ただ、**跡地の利活用**という意味での**特区であれば、そういう考え方もある**のかなどは感じる。過日、台湾を訪れた際、工場などの跡地を、若者が工房や店舗として活用している状況を目の当たりにし、とても参考になった。いずれにせよ、学校跡地利用については、腰を据えて地域の皆さんとの話し合いが必要だろうと思っている。

## 要望

台湾の事例が出されたが、**市街化調整区域内の学校**では、そうした**活用が難しい**ということはお考えいただきたい。今後、学校跡地の利活用については様々な議論がされると思うが、教育施設というだけでなく、長年にわたって地域の皆さんを結び付けてきた拠点でもある。ぜひとも**地域の活性化に結び付けていただくよう検討**をお願いしたい。

### 芳賀赤十字病院の将来的な跡地利用について

**質問** 平成16年のこととなるが、**足利赤十字病院の移転問題**について、**病院と地元の自治会長が話し合い**を行ったという記録が残っている。同じ赤十字病院であるにも関わらず、**なぜ真岡市ではできないのか**疑問に感じる。日赤サイドが拒んでいるのか、それとも行政側の判断なのか。

**答弁** まだ日赤サイドに土地の話はしていない。**地元からそうした要望があれば**仲介することを**拒むつもりはない**。

### 『まちなか保健室』の整備について

**質問** 大谷町町にある『シルバーサロン』で多くの方が集まり、体操の教室などが打ち切りになってしまったという皮肉な現象が見られている。**高齢者の居場所に対するニーズは非常にある**のだと思う。『**まちなか保健室**』を増設していきたいという考えは分かったが、**具体的な目標を示す**べきではないか。

**答弁** 『まちなか保健室』を増やすには、何よりも**地域の理解と協力**が必要であるため、現時点で具体的な目標はないが、空き店舗対策や高齢者の外出の機会にも繋がるので、大切なことだと思っている。**できるだけ高齢者が出かけやすい地域を選んで設置**していきたい。

## 要望

**医療費をいかにして抑制していくか**という課題もある。協力が得られるところであれば、空き店舗だけではなく**空き家の活用も視野に入れてはどうか**と感じる。『まちなか保健室』を増やすことについては、ぜひ具体的な計画をお作りいただければと思う。

### 不登校対策について

**質問** 真岡市内では平成26年度、**小学校が152件、中学校が53件**のいじめが確認されている。不登校対策を考える上で、最もデリケートに扱わなくてはならないのは、**いじめが原因で不登校になった子ども達への対応**であろう。その点について、教育長はどのようにお考えなのか。

**答弁** いじめが発生した際の、**早期発見に全力で取り組んでいきたい**。いじめは子どもの中で起こっているもので、子どもの情報を的確につかみ、いじめに対して毅然とした態度で臨むことが大切と考えている。また、学校だけでは対応できない問題もある。**スクールカウンセラーなど専門家とも連携**しながら、子どもに寄り添った丁寧な対応をしていきたい。

## 要望

**スクールカウンセラー**の話が出たが、非常に混み合っていて**なかなか相談できないという声**を先生方や保護者からは聞く。それだけ相談件数も多いのだと思うが、そういった**体制強化も検討**をしていただければと思う。

### 特別支援教育について

**質問** 酒井前教育長の頃は、通級指導教室について充実化が必要という認識に立った答弁だったように思う。しかし、今回答弁を聞いていて、現在の環境で対応できているという話にも受け取れた。そこで確認するが、**既存の特別支援学級で、通級指導を受けている児童・生徒は現在何人いるのか**。

**答弁** 今年度、特別支援学級で通級指導を受けている児童・生徒は**4人**である。

### 中学生の広島派遣について

**質問** 先日、広島に派遣された中学生の文集を読む機会があった。**当初は、戦争について特段の思い入れはなかったという生徒達**が、資料館を見たり、語り部の方と話をしたりしながら、**戦争の悲惨さや平和の大切さを真剣に考えている**。そして、平和記念式典に出席して、日本の総理をはじめ世界各国の代表も集まって世界平和に向き合っていることも肌で感じてきたようだ。**そういう機会を子ども達に与えることを怠ってはいけない**と思うのだが。

**答弁** 子どもが広島に行って、**強く平和ということを意識するのは大切なこと**だと思うが、**一部の限られた生徒になる**。各学校において、**社会科や道徳、総合的な学習時間などで、全ての子ども達に平和教育をしていくことが重要**と考えている。

## 要望

『自分は知っているつもりだけだった』今回読んだ文集の中で、**広島を訪れたある中学生が書いた言葉**である。やはり、**その場に行ってこそ学べることもある**。ぜひ今後ご検討していただきたい。



# 私の政治活動費

この1年間（平成27年5月1日～平成28年4月30日）にかかった私の政治活動費について皆様にご報告いたします。

項目	金額	備考
印刷・広告費	1,312,113円	『中村かずひご通信』
ホームページ更新費	140,000円	
書籍・資料購入費	58,968円	D-file等
研修参加費	31,600円	若手市議会議員の会研修等
交通費	122,600円	個人で参加した研修の交通費
食糧費	0円	
通信費	0円	
文具費	491円	
家屋費	300,000円	事務所家賃
光熱水費	60,132円	水道料、電気料
その他	3,132円	

総額 **2,029,036 円**



皆様からのご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

※詳細に知っていただくため、個人視察時の交通費なども掲載いたしました。

※なお、過去の政治活動費については『中村かずひご通信』の1、5、9、12、17、21、25、29、33、37、41、45、49の各号をご参照下さい。

## 議会活性化等検討委員会 視察研修報告

5月26日（木）～27日（金）にかけて、議会活性化等検討委員会では、新潟県長岡市と燕市へ視察研修に赴きました。

真岡市の新しい市庁舎整備が設計段階に入り、市議会の議場について取り急ぎ意見をまとめる必要性があったことから、今回は『新しい議場のあり方』が視察テーマとなりました。

### 長岡市

長岡市の庁舎は、アリーナや市民交流ホールなどの機能も併せ持つ『アオーレ長岡』として平成24年に市の中心市街地にオープンした。

市議会の議場は、円卓状になっているのが大きな特徴。また、傍聴席は（議員席の後に配置されることが多いが）横から眺められる構造となっている。乳幼児を連れた保護者も傍聴できるよう配慮されているのも特筆すべき点である。『長岡の花火』をイメージしたオブジェは、経費や安全上の面で疑問に感じたが、それ以外の部分では驚きとともに参考になる点が多かった。



### 燕市

燕市の庁舎は平成25年に、市の郊外の水田地帯に開庁した（合併した1市2町のほぼ中心部分にあたる）。

『無駄を省いたスリムな庁舎』という基本方針が掲げられていることもあり、議会の施設全体も質素なデザインになっている。

その一方で、各議員の賛否の明確化や、参考資料・画像の提示等のために今後必要になると思われるモニターの設置や、車いすで訪れる傍聴者への配慮について、しっかり対応されていたことが強く印象に残った。



今回の視察では、右記の金額が公費でまかなわれました。

※当然のことですが、視察中の飲食代は全て議員の個人負担です。

※議員日当（3,300円×3日）の是非については、今後も課題としていきたいと考えております。

総額  
内訳

**37,897円** 出所 議会費のうち旅費など  
交通費、宿泊費、議員日当など

## 中村かずひご活動日誌

### 4月

- 1日 行屋川桜まつり点灯式
- 2日 真岡自然観察会役員会
- 3日 熊倉4区女性防犯防火クラブ総会
- 4日 倫理経営講演会
- 7日 真岡地区遺族会総会
- 8日 真岡中学校入学式
- 10日 守鑑社祭・桜まつり
- 11日 あいさつボランティア  
真岡西小学校入学式  
議会活性化等検討委員会  
大谷地区「わかば会」総会
- 16日 あいさつボランティア
- 18日 真岡地区戦没者慰霊祭  
『ひばりの会』総会
- 20-22日 全国若手市議会議員の会役員会・研修会  
（於：東京都千代田区、福島県郡山市ほか）
- 22日 伊夜日子会総会
- 23日 真岡市総合運動公園子ども広場  
完成記念式典  
熊倉神宮桜まつり
- 24日 あいさつボランティア
- 25日 小山市議会事務局を訪問
- 28日 栃木県戦没者合同慰霊祭（於：宇都宮市）

### 5月

- 2日 あいさつボランティア
- 6日 関東若手市議会議員の会役員会  
（於：東京都新宿区）
- 7日 真岡自然観察会
- 9日 あいさつボランティア  
議員協議会  
議会活性化等検討委員会
- 12日 会派間協議
- 14-15日 大谷地区役員研修  
（於：新潟県阿賀野市ほか）
- 16日 あいさつボランティア  
臨時議会
- 17日 『ひばりの会』定例会
- 20日 関東若手市議会議員の会栃木ブロック総会・  
研修会（於：小山市）
- 23日 あいさつボランティア
- 24-25日 関東若手市議会議員の会役員会・研修会  
（於：東京都品川区）
- 25日 やまさわの里役員会
- 26-27日 議会活性化等検討委員会視察研修  
（於：新潟県長岡市、燕市）
- 29日 コットンウェイ硬式野球部壮行会
- 30日 あいさつボランティア  
議員協議会
- 31日 一般質問の通告書を提出

### 6月

- 1日 身体障がい者福祉会視覚部会研修に同行  
（於：東京都新宿区）
- 2日 質疑・一般質問調整会議  
※その後、担当課と接見
- 6日 あいさつボランティア  
6月定例議会開会
- 7日 『ひばりの会』定例会  
とちぎボランティアネットワークと打ち合わせ  
（真岡自然観察会の活動として）
- 11日 真岡西中学校西輝ヶ丘スポーツフェスティバル
- 13日 質疑・一般質問1日目
- 14日 質疑・一般質問2日目  
※この日、最終質問者として登壇
- 16日 民生文教常任委員会
- 20日 あいさつボランティア
- 21日 6月定例議会閉会  
議会活性化等検討委員会
- 27日 あいさつボランティア

